



カタクリ (片栗) 《 ユリ科 》

早春に10cm程の茎(くき)を伸ばし薄紫の花を咲かせる多年草。中部地方以北で人手の入った里山に多く分布する。

もともと片栗粉はカタクリの根の澱粉を用いたものであるが、自生カタクリの減少により、今では性質の似た馬鈴薯(ばれいしょ)の澱粉に切り替わっている。



カタクリの群生地や開花時期など詳しい情報は、Asahi 自然観へお問い合わせください。5月下旬からは白倉名産の観光わらび園もオープンします。

お問い合わせ先 **Asahi 自然観**
山形県西村山郡朝日町白倉 745-1
Tel 0237-83-7111

マナーを守ってご覧ください

カタクリ群生地は私有地となりますので、草木や山菜等の採取は勿論、作業道以外の畑に立ち入ることは禁じられています。地区民の皆様の善意により無料解放されていますので、末永く開放していただくためにも、マナーを守って鑑賞ください。



ニホンタンポポを探そう

田んぼのあぜや野原など、いろんなところでよく見かけるタンポポ。でも、このほとんどが、外来種のセイヨウ(西洋)タンポポだということをご存知ですか？

昔からの在来種のニホンタンポポ(東北地方はエゾタンポポ)は、春にだけひっそり咲いています。

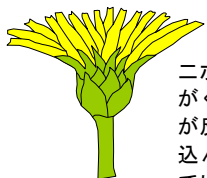
春限定で咲くニホンタンポポを探して、春を見つけてみてください。

ライオンとタンポポ

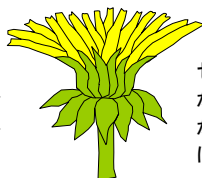
タンポポの英語名は「ダンデライオン」。なんでライオン？って思いませんか。一見不釣り合いな組み合わせですが、タンポポの葉っぱがギザギザしていて、ライオンの牙を連想させることが由来となっているようです。



簡単な見分け方



ニホンタンポポがく(総包)の部分が反り返らず、包み込んだ形状になっている



セイヨウタンポポがく(総包)の部分が反り返った形状になっている

春を

探しに

出かけよう

春を見つけたら

隠れスポット

朝日町の白倉（しらくら）地区に、あまり知られていないカタクリの群生地がある。

雪が消えたばかりの5月上旬、早春の里山の斜面いっぱい、薄紫のカタクリが花を咲かせる。萌黄（もえぎ）色の遠くの山並みとあいまって、春にしか味わえない景色を堪能できる。

この隠れ観光資源「カタクリ群生地」は、地元の人しか知らない場所だったが、地域づくりワークショップがきっかけとなり、地元住民の協力のもと宿泊施設を備えるAsahi自然観が、一般開放したものだ。